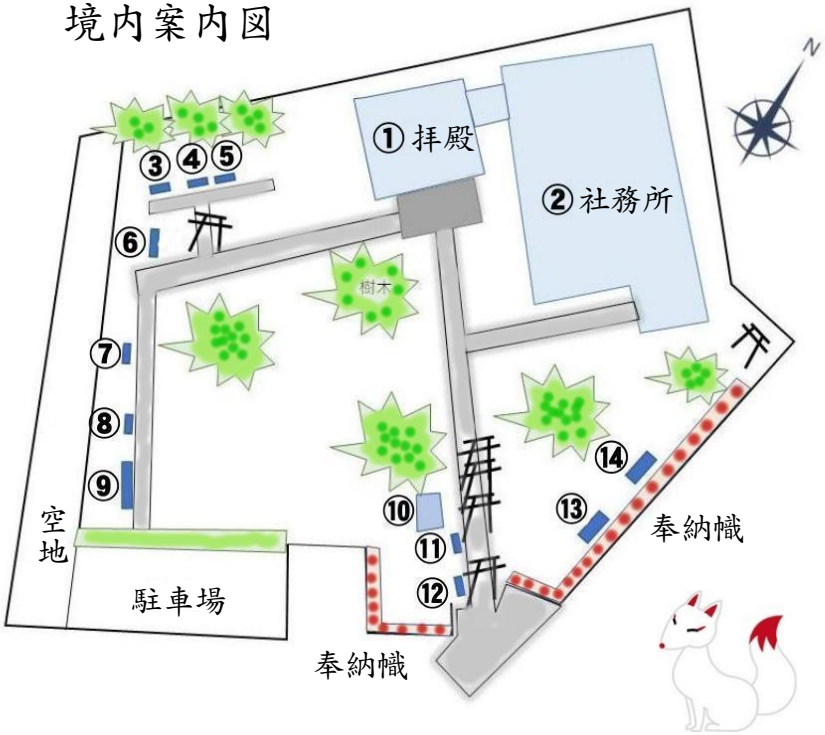
境内案内図



① 拝殿
② 社務所
③ 庚申塔・道祖神
④ 天満宮
⑤ 古峯神社
⑥ 絵馬かけ
⑦ 子安観音・お地蔵様
⑧ 大師堂
⑨ 大師結願供養塔
⑩ 手水舎
⑪ 百五十年記念碑
⑫ 初富稲荷神社移転新築記念碑
⑬ 御大典記念碑
⑭ 初富開拓百ヶ年記念碑

ご由緒

総本社	京都伏見稲荷大社
ご祭神	宇迦之御魂大神 うかのみたまのおおかみ 佐田彦大神 さたひこのおおかみ 大宮能売大神 おおみやのめのおおかみ 田中大神 たなかのおおかみ 四之大神 しのおおかみ
ご利益	五穀豊穣・商売繁盛・家内安全 交通安全・学業成就・縁結び 諸願成就・万病平癒・安産・他
創　建	明治2年（1869 年）10月創建
再　建	昭和41年（1966 年）10月25日 創建百年祭記念として再建
移　転 新改築	平成13年（2001 年）9月20日 再開発事業により移転新改築



初富稲荷神社拝殿

初富稲荷神社のご案内

初富稲荷神社は、明治二年初富地区開拓と共に、当地区の御守護と繁栄を願い、京都伏見稲荷大社より御分神五柱を勧請申し上げ、以来、初富の鎮守様として御鎮座しています。

「初富」という地名は、当時の下総牧開墾局知事 北島秀朝が、開墾地第一号の「初」の字と、豊かな実りになるようにとの願いを込めた「富」の字を組み合わせ命名したものです。

当神社は、創建時から地域住民有志のボランティア（氏子役員）が管理・運営を行い、地域の人たちで大切にお護りしている氏神神社です。春と秋の例大祭は、「年番」と呼ばれる各自治会の皆様のご協力を得て執り行われています。

この伝統を未来永劫守り通して戴きたいと存じます。

初富（初めに富がやってくる）という縁起の良い名前にあやかり、なにか新しいことを始める際にお詣りする人が多い神社です。結婚、出産、入学、進学、入社、新築、新しい財布を使い始めるなどの時は、初富稲荷神社へお詣りください。

きっと素晴らしいご利益があるでしょう。